

諏訪大神春季例大祭

笹川の神楽日程表

「笹川の神楽」は例年4月の諏訪大神春季例大祭の時に、境内の神楽殿で奉納される十六座神楽です。

建久2年（1191年）千葉成胤が、源頼朝の武運長久を祈願し、神楽を奉納したのが初めてと伝えられ、近郷でも名高く、昭和40年2月27日に「千葉県無形民俗文化財」に指定されました。

神楽の奉納は、笹川地区7つの区が回り番で担当し、7年目毎に当番となった区の青年達が、先輩の教えを受けて舞台に立ちます。

7区の順番は、仲内区→根方区→大木戸区→宿浜区→新田区→菰敷区→鹿野戸区となっています。

11:20 ~11:50	み 神 子	10歳前後の女兒（稚児）によって行われる <small>さかさまい</small> 櫛舞	江越 希美 田村南乃羽 磯山 結月 岡野 乃彩
12:00 ~13:30	さる た ひこの おお かみ 猿 田 彦 大 神	どうぞじん <small>しやく</small> 道祖神。笏を手に四方固め、刀を手に米を切り、印を結ぶなどして天狗飛び	石橋 正範
13:30 ~14:00	さん ぼう こう じん 三 方 荒 神	道祖神、猿田彦大神の一派である。棒ふりの四方固め	高安 雅紀
14:10 ~14:45	み 神 子	10歳前後の女兒（稚児）によって行われる <small>へいそくまい</small> 幣束舞	
14:50 ~15:45	あめの こ や ねの みこと 天 児 屋 根 命	しめ縄をない、 <small>あまのいわと</small> 天岩戸に張り巡らす舞	高安 宏明
14:50 ~15:45	あめの ふと だまの みこと 天 太 玉 命	〃	櫻井 友規
15:20 ~15:40	おと め の みこと 乙 女 之 命	通称「おかめ」の舞（ <small>うずめのみこと</small> 宇受女之命の場面をこの演目で表している。）	常世田達也
15:40 ~16:05	た ちから を の みこと 手 力 雄 之 命	天岩戸を開く力強さを棒により演ずる舞	石毛 洋一
16:05 ~16:15	さかさき ぼら の みこと 櫛 原 之 命	<small>にちりん かちりん</small> （日輪、月輪）扇の舞	鈴木 教久
16:15 ~16:45	はち まんの おお かみ 八 幡 大 神	<small>はちまんだろうよしえ</small> （八幡太郎義家）エゾ退治弓矢の舞	磯山 康文
16:50 ~17:30	み 神 子	10歳前後の女兒（稚児）によって行われる扇合わせ	
17:35 ~18:15	う ず め の みこと 宇 受 女 之 命	扇と鈴による美女の舞 （このすばらしい舞が神楽の始まりである。）	野口 雄太
18:15 ~18:50	ひる こ の みこと 蛭 子 之 命	<small>えびす</small> 恵比寿。鯛釣りの舞	石毛 謙二
18:15 ~19:10	お 御 とも 供	<small>ひるこのみこと</small> 蛭子之命が釣った鯛を見物人に投げるひよっとこの舞	大後 利仁
19:10 ~20:00	いぬ うの おお かみ 稲 荷 大 神	農耕の神 商売繁盛の神 たすき舞、幣束舞、鍬踊りと、いろいろと変化する舞	菅谷 恭輔
19:30 ~20:15	きつね 狐	稲荷大神のお供をして、最後に団子、キツネのしっぽをなげる舞	多田 祐太
19:40 ~20:00	たね まきの の みこと 種 蒔 之 命	稲荷大神付の農耕の神 稲の種をまく舞には、稲荷大神ときつねの協力もある	石毛 昭宏
20:15 ~20:45	うけもち の みこと 受 持 之 命	棒を手にして五穀成就の謡と四方固め	大後 重彦
21:00 ~21:45	す き のをの みこと 素 盞 鳴 尊	天照大神の弟神 神剣（真剣）で行う <small>やまたのおろち</small> 八岐大蛇退治の場面を、しめ縄を切る舞によって演じている	石毛 和則

（平成31年4月）

今年の祭事当番区は鹿野戸区です。

東庄町観光協会